

九州統一
勸組同盟

運動方針

草案

一 一般運動方針

一 國際情勢

一九三三年フアツシヨドイツ生北世界の均衡は正に破れんとし
世界資本主義の崩壊の危機は迫り一九三四年二月六日ペイヨン又
事件を契機として起れるパリーの大暴動勃発は忽ちのうちに全
歐洲に波及し十月埃國苗都ウイン市の大暴動と成り政府軍との
交戦に全環圍を戰場化し愛蘭にもスペインでも戰鬥的労働者
反逆の血潮は際之上り今や全歐洲は正に革命の許夜にある

二 日本資本主義の一般情勢

一 日本資本主義の變則的發展と特殊情勢

崩壊期戦前に立つて世界資本主義の一環たる日本主義は歐洲大

No. 12

戰を通じて急迫なる發展を遂げて一躍世界資本主義の列強に加
り戦後世界資本主義の生産力恢復と國際市場進出に際會
するや慌しくも一大混亂を惹起した日本資本主義の産業
的基礎は微弱にして動搖し易く世界資本主義並に國內資本
主義の比較的小動揺にも安定を失ひ發展の遅く小たる初
期資本主義時代の雜工業及び農業に依存する部分が多
く爲に産業崩壊の過程には國家保護に符つて發達せる
官制的性質が多少に濃くあり國家資源に乏しき我國
産業の基礎たる石炭鉄鋼の大部分を支那に仰が
此の形をとりし日本工業は支那に對し大なる
支那を差控へて帝國主義列強との軋轢を愈々光鋭ならしむ

此の形をとりし日本工業は支那に對し大なる
支那を差控へて帝國主義列強との軋轢を愈々光鋭ならしむ